市報とおかまち
平成20年（2008）November　第88号
TOKAMACHI
11.25

だんだん

自慢のうんめぇそば

11月16日(日)に開催された第13回もくらくぞっき（木落）そばまつり。地元産そば粉100%の風味豊かな味わいは毎年大好評です。地元有志の皆さんは、約600食分の準備に追われて大忙しでした。

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

主な内容

- おめでとうございます　叙勲・褒章・表彰…… 2-3
- 人事行政事情のお知らせほか…… 4-6
- 中学生の税に関する作文・標語ほか…… 7
- 地域の風～支所からのたより～ ……8-9
- Oh!my クラス／なじょもなじょもほか…… 10-11
- まちの話題 TOWN TOPICS……12
- お知らせ・ガイドほか …… 13-17
- この時　熱中・夢中 …… 18

おめでとうございます

叙勲・褒章・表彰

さまざまな分野で永年にわたり活躍・貢献した皆さんが国などから表彰されました。晴れの栄誉に輝いた皆さん、おめでとうございます。

旭日双光章（納税功労）

小杉　軍平さん
（四日町４・70歳）

永年にわたり、納税貯蓄組合の仕事に従事した功績で、小杉軍平さんが秋の叙勲に輝きました。

小杉さんは、昭和40年に十日町大井田納税貯蓄組合に従事。昭和51年から現在まで十日町大井田納税貯蓄組合長を務めるほか、平成13年から十日町納税貯蓄組合連合会会長、新潟県納税貯蓄組合総連合会副会長を務めるなど、納税に関する意識の向上に努力しました。

小杉さんは、「現在では振り替え納税が主となり、納税貯蓄組合の役割も時代とともに変化してきました。最近は、中学生を対象にした税についての作文を募集し、表彰するなど、税に対する啓もう活動に力を入れています。税金を正しく納めることで国が成り立つことを、多くの子どもたちが理解しています。彼らの税に対する純真な気持ちを大切にしたいです」と話していました。

旭日双光章（保健衛生功労）

山口　誠士さん
（下条3・83歳）

永年にわたり、地域保健医療活動に従事した功績で、山口誠士さんが秋の叙勲に輝きました。

山口さんは、昭和29年に当時無医地区であった下条地域の住民の強い要請に応えて診療所を開設。昭和33年からは㈳十日町市中魚沼郡医師会の理事に就任し会長職も務めるなど、十日町地域のみならず魚沼地域全体の医療向上に貢献しました。また、地域の幼稚園や老人福祉施設の設立にも尽力し、地域福祉の向上に取り組んできました。

山口さんは、「受章して戸惑いを感じています。町医者として、目の前の課題にその都度向かい合ってきただけです。昔は往診で全ての家を回ることが地域医療でしたが、今では病診連携を大切にしながら市民の健康のために、時代と共に変わる地域医療に対応していくことが必要です」と話していました。

瑞宝双光章（消防功労）

清水　善三さん
（高原田・78歳）

永年にわたり、消防団活動に従事した功労で、清水善三さんが秋の叙勲に輝きました。

清水さんは、昭和29年5月に旧千手町消防団に入団して以来、平成15年4月に退団するまでの約49年間にわたり地域の防災活動に貢献。平成5年から退団までの間は旧川西町消防団団長として団員の指導・育成にあたりました。平成元年には永年勤続功労章を、平成13年には功労章を消防庁長官から受章しています。

清水さんは、「地域や家族、団員みんなの協力があってこそ。一人ではとてもできませんでした。一番の思い出は、団長に任命された年に町から団旗を新しくしていただいたこと。ラッパ隊を編成したことも、団員の士気の高揚につながったのでよかったです。消防団は地域になくてはならないので、若い人に多く入ってほしいですね」と話していました。

瑞宝単光章（統計調査功労）

小宮山　正巳さん
（高田町３・73歳）

永年にわたり、統計調査に従事した功績が認められ、小宮山正巳さんが秋の叙勲に輝きました。

小宮山さんは、昭和44年以来35回にわたり工業統計調査に従事したほか、国勢調査や商業統計調査、事業所・企業統計調査など多数の調査員を努めました。訪問時間への配慮や丁寧な説明などにより地域住民からの信頼も厚く、統計調査の充実・発展に貢献してきました。

受章にあたり小宮山さんは、「『ちょっと手伝って』と声をかけられたのが、調査員を始めたきっかけです。こんなに回数を重ねることになるとは思ってもみませんでした。市民の皆さんの協力や家族の支えがあったから続けてこれました。感謝の一言です。調査の対象となった皆さんにはそれぞれ仕事などの都合があるので、機転を利かせるようにいつも心がけています」と話していました。

藍綬褒章（自衛隊協力）

上村　浩子さん
（山崎・64歳）

永年にわたり、自衛官募集相談員に従事した功績が認められ、上村浩子さんが秋の叙勲に輝きました。

上村さんは、自衛官募集相談員として20年以上従事し、平成14年には新潟県自衛官募集相談員連合会会長に就任しました。この間大勢の優秀な生徒を自衛隊に紹介し、自衛隊業務の発展に寄与しました。

上村さんが募集相談員を引き受けたきっかけは、自身も3人の子どもを医師に育てた経験から教育にお金がかかることを痛切に感じていたときに、自衛隊に行けば、自分の希望する勉強ができ、仕事も選ぶことができることを知ったからです。

受章にあたり上村さんは、「本当にびっくりしました。ボランティアを続けてきたことが認められうれしいです。県内225人の募集相談員と主人の理解に感謝します」と話していました。

国土交通大臣表彰（自動車関係功労）

馬場　三郎さん
（本町１・64歳）

昭和62年から魚沼地区ハイヤー協議会の役員を務め、平成18年からは県ハイヤー交通共済協同組合副理事長に就任。タクシー事業を通じて地域振興の中心的役割を担っています。

厚生労働大臣表彰（公衆衛生事業功労）

大坪　康男さん
（四日町新田２・76歳）

永年地域において疾病予防活動などに従事したことが認められ、受賞しました。大坪さんは「特別なことではなく、医者として普通のことをしただけです」と話していました。

㈶日本公衆衛生協会会長表彰（公衆衛生事業功労）

大熊　達義さん
（春日町３・67歳）

昭和59年から県立十日町病院内科医として勤務し、平成3年には大熊内科医院を開設。学校医や十日町市中魚沼郡医師会会長なども務め、地域医療の発展に貢献してきました。

㈶日本公衆衛生協会会長表彰（公衆衛生事業功労）

上村　晃一さん
（山崎・67歳）

永年地域おいて学校医や予防接種事業に従事し、保健衛生の普及・向上に尽力しました。この間十日町市中魚郡医師会会長として、地域医療の発展に多大な功績を残しました。

人事行政事情のお知らせ

十日町市

十日町市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成19年度の人事行政の運営などの状況について公表します。なお、公表項目の職員給与に関して、平成19年度分については平成19年12月25日号の市報に掲載しました。平成20年度分については平成20年12月25日号の市報に掲載する予定です。

1．任免の状況について

平成19年度（H19.4.1～H20.3.31）の状況は、全体で退職者46人、採用者16人となっています。

①退職者の状況

区　分	人　数
定年退職	26人
勧奨退職	12人
普通退職	5人
その他	3人
合計	46人

②採用者の状況

区　分	人　数
上級	10人
中級	0人
初級	3人
教育職員	2人
その他	1人
合計	16人

2．定員適正化計画について

平成18年３月に定員適正化計画を策定し、平成18年度から平成22年度までの５年間で職員数を57人削減し、709人にする目標を定めました。削減にあたっては「事務・事業の見直し」「民間への委託」「組織、機構の見直し」などを総合的に組み合わせて、目標達成を目指します。

区　分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計
職員数	766	749	742	729	720	709	
増減		△ 17	△ 7	△ 13	△ 9	△ 11	△ 57

3．職員の勤務時間そのほかの勤務条件の状況

（1）勤務時間の状況

全職員について、労働基準法の限度内である１日８時間、１週間40時間となっています。

１週間の正規の勤務時間	１日の正規の勤務時間			
		開始時間	終了時間	休憩時間
40時間	８時間	８：30	17：30	12：00～13：00

※一部職場によっては時間差勤務を行っています。

（2）年次有給休暇の取得状況（H19.１.１～H19.12.31）

年次有給休暇は、１年ごとに20日付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができます。

総取得日数	全対象職員数	平均取得日数
4279.0日	450人	9.5日

※市長部局に在職する一般職員を対象とした数字です。

（3）特別休暇などの導入状況

特別休暇は、結婚、出産、お悔やみ、そのほか特別な事情により勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより与えられる休暇です。（有給）

（4）介護休暇の取得状況

介護休暇は、職員の家族を介護するため勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより６か月以内の期間で与えられる休暇です。（無給）

取得職員数
０人

（5）育児休業などの取得状況

育児休業は、法律に基づき条例の定めるところにより、職員が３歳に満たない子を養育する必要がある場合において休業できる制度です。（無給）

取得職員数
７人

4．職員の分限及び懲戒の状況

（1）分限処分の状況

分限処分とは、法律又は条例に定められた事由に該当した場合に、職員の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、地方公務員法第28条に規定されています。

分限処分には、降任・免職・休職・降給の４種類があります。

分限処分者数

降任	免職	休職	降給	合計
０人	０人	８人	０人	８人

（2）懲戒処分の状況

懲戒処分とは、任命権者が職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う行政上の不利益処分のことをいい、地方公務員法第29条に規定されています。

懲戒処分には、戒告、減給、停職、免職の４種類があります。

懲戒処分者数

戒告	減給	停職	免職	合計
２人	１人	０人	０人	３人

5．職員の研修及び勤務成績の評定

（1）職員の研修

十日町市では公務の基礎知識から高度な行政運営能力を養うため、新潟県市町村総合事務組合などが行っている研修を職員に受講させています。平成19年度は157人の職員が各種研修に参加しました。

（2）勤務成績の評定の状況

十日町市では職員の人材育成及び業務効率を増進させることを目的として、定期的（年２回、１月と７月）に勤務成績の評価を行っています。

6．職員の福祉及び利益の保護の状況

（1）厚生計画の状況

区　分	事業名	事業内容
厚生制度	定期健康診断	定期健康診断及び事後指導など
	人間ドック	人間ドック、脳ドック
	メンタルヘルス研修会	メンタルヘルス対策の研修会
共済制度	短期給付	保健給付（医療保険）、休業給付など
	長期給付	退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金など
	福祉事業	貸付事業、保健事業、宿泊施設運営など

（2）公務災害などの状況

認定請求の状況	
公務災害	通勤災害
３件	１件

人事行政事情のお知らせ

十日町地域広域事務組合

十日町地域広域事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成19年度の人事行政の運営などの状況について公表します。なお、公表項目の職員給与に関して、平成19年度分については平成19年12月25日号の市報に掲載しました。平成20年度分については平成20年12月25日号の市報に掲載する予定です。

1．任免の状況について

平成19年度（H19.4.1～H20.3.31）の状況は、全体で退職者10人、採用者４人となっています。

①退職者の状況

区　分	人　数
定年退職	6人
勧奨退職	2人
普通退職	0人
その他	2人
合計	10人

②採用者の状況

区　分	人　数
消防士上級	1人
消防士初級	2人
その他	1人
合計	4人

2．職員の勤務時間そのほかの勤務条件の状況

（1）勤務時間の状況

全職員について、労働基準法の限度内である１日８時間、１週間40時間となっています。

１週間の正規の勤務時間	１日の正規の勤務時間			
		開始時間	終了時間	休憩時間
40時間	８時間	８：30	17：30	12：00～13：00

※消防職の交替制勤務職員は１当務あたり16時間であり、３交替制でローテーション勤務となっています。

（2）年次有給休暇の取得状況（H19.１.１～H19.12.31）

年次有給休暇は、１年ごとに20日付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができます。

総取得日数	全対象職員数	平均取得日数
1055.5日	121人	8.7日

※９か月以上在職した職員を集計

（3）特別休暇などの導入状況

特別休暇は、結婚、出産、お悔やみ、そのほか特別な事情により勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより与えられる休暇です。（有給）

（４）介護休暇の取得状況

介護休暇は、職員の家族を介護するため勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより６か月以内の期間で与えられる休暇です。（無給）

取得職員数
０人

（５）育児休業などの取得状況

育児休業は、法律に基づき条例の定めるところにより、職員が３歳に満たない子を養育する必要がある場合において休業できる制度です。（無給）

取得職員数
０人

３．職員の分限及び懲戒の状況

（１）分限処分の状況

分限処分とは、法律又は条例に定められた事由に該当した場合に、職員の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、地方公務員法第28条に規定されています。

分限処分には、降任・免職・休職・降給の４種類があります。

分限処分者数

降任	免職	休職	降給	合計
０人	０人	０人	０人	０人

（２）懲戒処分の状況

懲戒処分とは、任命権者が職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う行政上の不利益処分のことをいい、地方公務員法第29条に規定されています。

懲戒処分には、戒告、減給、停職、免職の４種類があります。

懲戒処分者数

戒告	減給	停職	免職	合計
０人	０人	０人	０人	０人

４．職員の研修及び勤務成績の評定

（１）職員の研修

十日町地域広域事務組合では消防救急技術を養うため、新潟県消防学校などが行っている研修を職員に受講させています。平成19年度は30人の職員が各種研修に参加しました。

（２）勤務成績の評定の状況

十日町地域広域事務組合では職員の人材育成及び業務効率を増進させることを目的として、定期的（年２回、１月と７月）に勤務成績の評価を行っています。

５．職員の福祉及び利益の保護の状況

（１）厚生計画の状況

区分	事業名	事業内容
厚生制度	定期健康診断	定期健康診断及び事後指導など
	人間ドック	人間ドック、脳ドック
	B型肝炎検査、予防接種	消防職員を対象とする検査
	特定業務従事者検診	特定業務従事の消防職員を対象とする検診
共済制度	短期給付	保健給付（医療保険）、休業給付など
	長期給付	退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金など
	福祉事業	貸付事業、保健事業、宿泊施設運営など

（２）公務災害などの状況

認定請求の状況	
公務災害	通勤災害
５件	０件

2回目の鉄道検討会議を開催しました

市民を中心とした鉄道の検討会議を設けたことを、9月にお知らせしましたが、その2回目の会議が10月下旬に開催されました。会議では、市や県の鉄道に関する対応の説明や、飯山線とほくほく線の鉄道各社の利便性向上と利用者増加に向けたさまざまな取り組みや工夫が紹介されました。市民委員からは、「通年での観光誘客が欠かせない」「乗ること自体に魅力を持たせては」「環境への配慮から利用普及を図ってはどうか」などの意見が出されました。

会議は、これまで2回の勉強会という位置付けから、その中で出された意見の詳細な検討など、いよいよ本格的な議論に移っていきます。

今後も引き続き市報などで検討経過をお知らせしていきます。市民の皆さんも意見などをぜひお寄せください。

■問合せ
総合政策課企画政策係 ☎75―3193

検討会議の様子

中学生の税に関する作文・標語

十日町納税貯蓄組合連合会、十日町税務署、十日町市租税教育推進協議会では、中学生を対象に税に関する作文・標語を募集しました。入選結果は次のとおりです。（敬称略）

【作文の部】

●新潟県納税貯蓄組合総連合会長賞
小林結梨（南中２年）
「税を身近に考えてみて」

●新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞
西川綾（中条中３年）
「税の役割を知って」

●十日町税務署長賞
大渕光将（下条中３年）
「自分から見た税」
大渕美咲（下条中３年）
「税について」

●十日町市租税教育推進協議会長賞
▽最優秀賞
仲澤佑弥（十日町中３年）
「部活動のできるありがたさ」
▽優秀賞
高橋瑠美（十日町中３年）、庭野千春（十日町中３年）、佐藤銘（中条中３年）、曽根夕唯子（中条中３年）、樋口めぐみ（中条中３年）、中山陽樹（南中２年）、島田芽衣（吉田中３年）、小宮山みちる（下条中３年）、芹川遥香（下条中３年）、金沢拓英（水沢中３年）

【標語の部】

●関東信越国税局長賞優秀
山本涼（松代中１年）
「全国の みんなに広がれ イータくん」

●関東信越国税局長賞佳作
古澤実結（水沢中２年）
「被災地へ 届け私の 心と税」
高橋爽香（松之山中２年）
「消費税で 私も国に 貢献だ」

●新潟県租税教育推進協議会長賞
関谷広樹（十日町中３年）
「災害で 感じた税の 重要さ」

●十日町市租税教育推進協議会長賞
▽最優秀賞
山口椋（水沢中３年）
「夢のある 未来を築く みんなの税」
▽優秀賞
矢口紗希（十日町中２年）、久保田由（中条中３年）、西川綾（中条中３年）、大熊綾夏（中条中２年）、小國美登利（南中３年）、高山裕衣（南中３年）、霜垣春奈（南中２年）、尾身夕希（吉田中２年）、吉澤悟（吉田中２年）、田村彩子（下条中３年）、上村奈央（下条中１年）、宮沢秀友（水沢中３年）、上村幸（水沢中２年）、井川結貴（川西中１年）、小野塚智安（中里中２年）、山本夏希（中里中２年）、瀧澤佑里菜（中里中１年）、山岸興平（松代中３年）、武田彩（松代中２年）、大見萌夏（松之山中３年）

技能五輪全国大会 優勝おめでとう

10月31日㈮～11月3日(文化の日)、幕張メッセ（千葉市）を主会場に第46回技能五輪全国大会が開催され、建築大工の部で小島真穂さん（谷内丑２・21歳・㈲尾身建築勤務）が見事優勝を果たしました。11月13日㈭に表敬訪問した小島さんは、田口市長に金メダル獲得の喜びを伝えました。小島さんは、来年9月にカナダで行われる第40回技能五輪国際大会に日本代表として出場します。

十日町市文化協会連合会文化賞

第14回十日町市文化協会連合会（山内正胤会長）の文化祭が11月3日（文化の日）にラポート十日町で開催され、地域の芸術・文化の振興に貢献した4人が表彰されました。文化賞の受賞者と主な功績は次のとおりです。

◆藤田美智子さん（南新田１・64歳）
二科展10回連続の入選及び国内・国際展などで多数入賞した功績

◆庭野辰榮さん（赤倉・80歳）
長年にわたり、市指定無形民俗文化財「赤倉神楽」の保存と後継者育成、各種公演に尽力

◆長谷川丑松さん（水口・83歳）
長年にわたり、市指定無形民俗文化財「新保広大寺節」の保存・伝承と後継者育成に尽力

◆岡村祥硯さん（関根・81歳）
本年度の国際書法聯展（れん）において文部科学大臣賞を受賞し、地域の書道芸術発展に寄与した功績

まつだいステーション

松代支所
☎597-2220

半年ぶりに笑顔の再会
＝田舎体験受入者が学校を訪問＝

11月6日㈭、今年の春に八千代中学校（千葉県八千代市）の生徒を田舎体験で受け入れた30人が、八千代中学校を訪問しました。春の農家民泊時に、いっしょに農作業をしたり食卓を囲んだりしたことで、生徒たちにとっては民泊先の家族が第二の家族のようになり、お別れ会では涙を流す生徒もいました。

学校を訪問した一行は、体育の授業参観や音楽発表、学校見学などで交流を深めました。その間、松代から訪れた人たちは、まるで我が子の成長を見守るような表情を浮かべつつ終始笑顔。田舎体験の受け入れが7年目となる横尾光子さんは、「子どもが私のことを覚えていてくれてうれしかったし、会いに来たことを喜んでくれて遠くまで来た甲斐がありました。『来年は田舎に行きたい』と言っていた生徒もいたので、楽しみに待っています」と話していました。

松代の自然 ㊺

城川ダムに『タイム』が！

松代地域の水瓶である室野城山山麓の「城川ダム」には、ときおり珍しい植物が生えています。アワコガネギクやシロバナシナガワハギが発見されることもありますが、ここの建設工事に伴う重機の往復でどこからか運ばれた種が、発芽しても土地に合わなくて滅びてしまうものもあります。

そんな中、シソ科の常緑多年草らしい芳香のある植物が密生しているのを見つけ、昨年から気になっていましたが、先輩の諸先生方に問い合わせてみても不明ということで謎に包まれていました。ところが、ひょんな機会に、これは外来の栽培植物のハーブ（香り草）の一種で、英名『タイム』、和名「タチジャコウソウ（立麝香草）」ということが判明し、謎が解明しました。そんな栽培植物が、野生化して大いに繁殖しているという不思議な生命力に感動したので、保護したいと思っています。福島の「ブナ林公園」に間近な所です。

タイム

（文とカット　高橋八十八）

地域と歩んだ30年
松代中学校創立30周年記念式典

11月1日㈯、松代中学校（藤林壽一校長・生徒89人）の創立30周年記念式典が同校体育館で行われました。昭和54年に旧松代町内の6中学校が統合して誕生した同校は、体育祭などの行事に地域住民が参加するなど、地域に親しまれる学校となっています。

式典に引き続いて行われた講演会では、OBの高橋知美さん（平成5年度卒）が、「夢は牛のお医者さん」の演題で講演しました。小学生のころに獣医になるという夢を抱き始めた高橋さんが、その夢を実現するまでの努力や苦労を紹介。「夢を実現させるには具体的に考え、動き出すことが大切」と経験談を話し、後輩たちに優しくエールを贈ってくれました。

なかさとファンクラブ通信

中里支所
☎763-3111

地域の伝統を次世代へ
第4回なかさと食の文化祭

11月3日（文化の日）、中里保健センターで「第4回なかさと食の文化祭」（なかさと夢ネット主催）が開催されました。この文化祭は、参加者たちが地元の食材を使った家庭料理を持ち寄り、その料理にまつわる思い出や作り方を語り合いたいという気持ちから始まり、今年で4回目。出品された料理には、一つひとつその料理への思いとレシピが付けられ、出品者には後日、出品作品をまとめた記録集が配られます。この日は過去4年間で最多の出品者75人116品が並び、試食に訪れた人で長蛇の列ができていました。テーブルには簡単人参ジャムや古代米入りムカゴごはん、ジャガイモと里芋のおやきなど工夫を凝らした料理が並び、試食に訪れた人たちは、「作り方を覚えて今晩うちで作ってみよう」とその場で作り方をメモしたり、料理を囲んで話に花を咲かせたりしていました。次の文化祭を来年春に計画する同会役員の羽鳥ヨシ子さん（61歳）は、「地域のお年寄りの持つ料理の知恵や技が、だれにも引き継がれないまま失われてしまうのは惜しい。若い人たちは知りたいはずです。いろいろな人から出品してもらいたい」と次回に向けての意欲をのぞかせていました。

自慢のおらしょの米なじょだい
なかさとの米・食べくらべ販売会

都会では手に入らない、こだわりの100％中里産コシヒカリを多くの人に味わってもらおうと、11月2日㈰・3日（文化の日）、西田尻集落で「なかさとの米・食べくらべ販売会」（なかさと米一揆之会主催）がありました。

このイベントは、はぜかけ米や低農薬米など自慢の米を作る農家9軒が、自分の田んぼで採れた新米を訪れた人たちに試食、購入してもらおうというもの。訪れた県外からの観光客たちは、「食の安全が取り上げられる中で、お米を作った人の顔を見て、話を聞いて買えるのはうれしい」「ごはんだけでもおいしい」と新米を味わいながら、農家それぞれのこだわりを興味深そうに聞いていました。

地域の精神保健福祉に貢献

永年にわたる精神保健福祉活動への功績が認められ、村山篤稔さん（田沢本村・81歳）が新潟県精神保健福祉功労者賞を受賞されました。村山さんは、民生委員児童委員協議会長時代にNPO法人「工房なかさと」の設立に貢献したほか、心配ごと相談員としても活躍。日常のことから専門的なことまで真摯（しんし）に耳を傾ける姿勢は、相談者の支えとなりました。村山さんは、「印象に残っていることといえば、自宅へ引きこもる精神障害者宅へ長期にわたって通い、社会復帰の後押しができたことですね」と話していました。

十日町中学校３年３組 ㊵

「３－３めっちゃ好きやねん」をクラス目標に掲げる３年３組。一人ひとりがクラスを好きになってほしいと願って決めました。学級では、年間をとおして一人一役の係活動を決めることで、クラスへの所属意識を高めて自主性を養っています。自分だけではなく、みんなのことも考えて行動する27人の仲間たちです。

中島昭太郎さん・柳裕美恵さん――４月にクラス替えをしましたが、新しいクラスでもみんな最初から距離感がなくて、いつも明るく楽しく過ごしています。そんな中での一番の思い出は、総合優勝した体育祭。練習するにつれてみんなの意識が高まり、当日はテンションが上がりっぱなしでした。合唱コンクールでも最優秀賞をもらえてよかったです。

藤井佳介先生――すごく元気のある生徒たちです。エネルギーは学校一だと思っています。今年度からこの学校に赴任してきたので、以前の様子は分かりませんが、リーダーシップの面ではかなり成長しているんじゃないかな。今後も友だちを大切にしながら、やるべきことをしっかりやりつつ、今しかできないことにどんどん挑戦していってほしいですね。

ちきゅうとひとにやさしい エコドライブのススメ 8

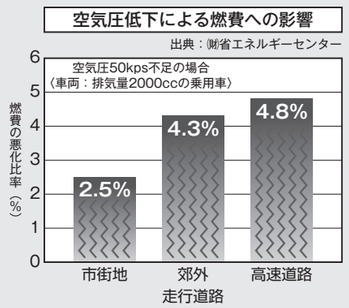
タイヤの空気圧は適正に

タイヤの空気圧を高めに設定すると、燃料消費率は向上します。ただし、乗り心地が悪くなる、タイヤのグリップ力が低下するなどの現象が発生するため、注意が必要です。高めのタイヤ空気圧に設定する場合でも、10％程度にとどめるようにしましょう。

エコドライブの「こつ」―運転以外の燃費術―

○タイヤの空気圧が不足すると、より多くの燃料を消費します。適正な空気圧で走行しましょう。

○タイヤの空気は時間がたつと自然に抜けていきます。見た目では分かりにくいので、定期的にチェックする習慣を付けましょう。



典拠：㈳日本自動車連動

お～い！昔〈四十一〉

「城之古観音」の巻（城之古）

今からずーっと昔、1、200年も前のこと、弘法大師は仏の教えを伝えに諸国をめぐり歩いていました。善光寺から信濃川に沿って越後に入り、城之古のムラに立ち寄ったときのことです。

ムラはずれのがけの上に立って、信濃川の水流が断崖にぶつかって渦巻く壮大な景観をながめていたとき、かたわらに立つ一本の名木に目がとまりました。

弘法大師はそのとき37歳の厄年だったので、その名木に観音像を刻んで厄払いをしようと思いつきました。大師は早速近くに庵を作り、毎日朝から晩まで一心不乱にノミをふるいました。

そして21日目の満願の日、ようやく観音像は完成しました。大師は開眼法要を済ませると、観音像をムラに残していずこともなく去っていきました。村人たちは弘法大師の住んでいたところにお堂を建てて、観音像をまつるようになりました。

それから360年ほど後のこと、平清盛の家臣で本間義秀という武士が清盛の命でこの地に城を築き、観音様を守本尊としてあつく信仰していました。ところが、間もなく平氏が滅んでしまったため、義秀は源氏の配下に入りました。そして源義経が兄頼朝に追われて奥州へ逃れるとき、この近くを通ったことからお供をすることになり、義秀は自ら城に火をつけました。

城内にあった観音堂にも火がまわり、本尊も炎に包まれそうになりました。ところが、そのとき、観音様は厨子の中から飛び出して、がけ下の穴の中にかくれました。すると観音様は水の中に沈み、炎から逃れたのです。

数日後、一人の村人が清水の近くを通ると水底が光り輝いています。それが本尊様だと知ったムラの衆は喜んでお堂を建て直し、観音様を再びまつりました。その夜、本尊を見つけた村人の夢枕に観音様が現れ、「われが身をひそめていた清水から水を引いて田を開け」と告げました。

早速、村中総出で信濃川の川原を開墾し、3町歩あまりの田を開きました。そこに清水を引くと、稲はほかの田のどれよりも見事に実りました。

村人は観音様のご利益に感謝し、いっそう弘法大師の徳を慕うようになりました。

なじょも、なじょも

その41

市長 田口直人

地域ブランド振興の事始め

私は常々、地域の「宝物」を再発見し、それに磨きをかけて外に発信したいと言っていますが、その「宝物」とは、実はごく身近なところに転がっているものだと思っています。たとえば、昔から食べている地元特有の野菜や郷土料理、地元の祭りや風習、伝統工芸品、職人の技、そして何より美しい自然など。何の変哲もない、あまりに当たり前で、普段はありがたいと感じたこともないようなものの中に、実は「宝物」が潜んでいるのではないかと思っています。

地元の人には当たり前であまり自覚がなくても、よその人が見ると不思議で、おもしろいと思うものが、その地域特有の文化ではないでしょうか。そしてそれがその地域の「宝物」だと思うのです。

何らかの手を加え、ちょっとした工夫することで、よその人にとって魅力的なものになるに違いありません。

例えば、私も先日おじゃまをさせていただいた第4回なかさと食の文化祭では、地元の食材を使った家庭料理が一堂に集まり、大勢の人の目と舌を楽しませてくれましたし、きものの集いの活動なども、その一つだと思います。よその人からこのような取り組みに参加してもらい、活動の輪を広げることが大事だと思います。

地域住民が地元の「宝物」を再発見することが地域ブランド振興の事始めであると思います。

にぎわいを見せた、なかさと食の文化祭

GUIDE

お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

GUIDE 催し座講

市民ミュージックサロン『LOVE&PEACE』

歌とヒップホップダンスで楽しいひとときを過ごしませんか。●**日時**＝12月3日㈬午後7時～9時●**会場**＝市民会館●**入場料**＝無料●**出演**＝蘭燃、雪の華、VOWS、コジマ、ステレオ、二つ星●**問合せ**＝生涯学習課（☎757－8918）

子ども博物館パート2 シメナワとハッチンチョウをつくろう！

友だちや家族と正月のシメナワ作りに挑戦しませんか。●**日時**＝12月7日㈰午後1時～4時30分●**会場**＝博物館●**対象**＝小学4～6年生とその家族●**参加費**＝300円（材料費、おやつ代、保険料）●**定員**＝先着20人●**持ち物**＝カッター、はさみ、定規、筆記用具、シメナワを入れる袋●**申込み・問合せ**＝12月3日㈬までに、申込書を博物館（☎757－5531）

第2回とおかまち100円商店街

大好評に応え、またまた商店街がまるごと100円ショップに！●**日時**＝12月13日㈯午前10時～午後3時●**会場**＝中心商店街●**問合せ**＝「とおかまち100円商店街」実行委員会（十日町商工会議所内☎757－5111）

十日町市芸術協会 第18回チャリティ展覧会

会員の作品を展示・販売します。●**日時**＝12月6日㈯・7日㈰午前9時～午後8時30分（7日は5時まで）●**会場**＝中央公民館●**入場料**＝無料●**問合せ**＝若月（☎757－0311）

おとぎ工房の仲間達展

紙粘土で作った作品を展示します。●**日時**＝11月29日㈯・30日㈰午前9時30分～午後5時（30日は4時まで）●**会場**＝中央公民館●**入場料**＝無料●**問合せ**＝おとぎ工房（☎757－8813）

「森の学校」キョロロ 12月の里山体験プログラム

※小学3年生以下は保護者の同伴が必要です

日　時	テーマ
7日㈰・14日㈰・21日㈰ 午後1時30分～3時	真冬の森探険
23日（天皇誕生日） 午前10時～午後3時	あんぼ作り
27日㈯ 午前8時30分～11時30分	探鳥会

●**参加費**　大人500円、小・中・高生300円（一部無料プログラムあり）
●**集合場所・問合せ**
キョロロ　☎595-8311

つまり写友会 2008写真展

「雪」をキーワードに妻有の自然を撮影した写真を展示します。●**日時**＝12月9日㈫～14日㈰午前9時30分～午後7時（最終日は4時まで）●**会場**＝情報館●**入場料**＝無料●**問合せ**＝茂野（☎768－4348）

なかまの家、ワークセンターなごみの手作り作品を販売します

●**日時**＝12月11日㈭午前9時～正午：なかまの家、午後1時～3時：ワークセンターなごみ●**会場・問合せ**＝ジャスコ十日町店（☎752－0033）

十日町おやこ劇場 クリスマス特別上映会

『ポーラーエクスプレス―急行北極号―』を上映します。●**日時**＝12月14日㈰午後1時30分～（100分間）●**会場**＝千手中央コミュニティセンター●**入**

第1弾 保育ヘルパー育成セミナー

保育ヘルパー（保育ボランティア）として子どもたちを預かるときに知っておきたいことや、子育て支援についての基礎知識を学びます。

回	期　日	テーマ
1	12月10日㈬	「子どもの発達とかかわり方」 講師：中野啓明さん （新潟青陵大学看護学科教授）
2	12月18日㈭	「保育ボランティアの実践事例」 講師：NPO法人マミーズネットの皆さん

●**会場**：中央公民館　●**時間**：午前10時～11時30分
●**対象**：市内在住で保育ヘルパーとして活動したい人（年齢・性別は問いません）
●**受講料**：無料　●**定員**：先着30人
※資格取得や就職のあっせんはできません
●**申込み・問合せ**
12月5日㈮までに、電話・FAX・はがきのいずれかで①氏名②住所③生年月日④電話番号を福祉課子育て支援係（〒948-8501十日町市千歳町3-3 ☎757-9169　FAX 757-3800）

～育てよう　一人一人の　人権意識～ 第60回人権週間 （12月4日㈭～10日㈬）

人は生まれたときからだれもが人権を持っています。自分の人権はもちろん大切ですが、他人の人権も同じように大切です。思いやりの心と優しさを忘れずに、心豊かな社会を実現させましょう。

人を差別したり、ひぼう中傷したりすることは許されません。「これは人権問題ではないだろうか」と感じたり、困りごとや心配ごとがあったりしたら、法務局や人権擁護委員に気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

～特設人権相談会～
●日時　①12月4日㈭　②12月8日㈪ 午前10時～午後3時
●会場　①川治公民館、新潟地方法務局十日町支局
②上野コミュニティセンター

問合せ　新潟地方法務局十日町支局 ☎752-2575

待ちに待った14年間　松之山バイパス開通式

11月5日㈬、一般国道353号松之山バイパス「高館（たかだて）トンネル・布川大橋」の開通式が午前10時30分から東川地内で行われ、供用開始されました。このバイパスは松之山東川と橋詰地内を長さ1,202mのトンネルと97mの橋を含む1,600mで結ぶもので、平成7年度の事業着手から14年間の歳月と、総工費56億円をかけて完成しました。これまでこの間の道路は幅員も狭く、特に冬季間は交通難所となっていて、バイパスの完成は地域住民の悲願となっていました。開通式には田口市長を始め関係者、地区住民など約300人が集まる中、上川手歌舞伎保存会による「白浪五人男」も登場し口上を述べ、完成を祝いました。

まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112内線213）へ、気軽にお寄せください。

JR信濃川発電所市民説明会

11月13日㈭、本年9月に発覚した東日本旅客鉄道㈱信濃川発電所「宮中取水ダム」などにおける発電水利使用の不適切事案について、JRによる説明会が情報館で開催され、経緯と「水利使用の適正化に係る総点検」実施結果の報告、今後の対応について説明がありました。JR側からは、「市民の皆さんに、大切な信濃川の水についてご迷惑とご心配をおかけしたことをおわびし、双方の信頼関係回復に向けて、全社をあげて再発防止に取り組んでいきます」と発言がありました。

tokamachi topics

おいしい新潟を提供します

トキめき新潟国体冬季大会で選手などの宿舎となる市内宿泊施設の全体会が11月12日㈬に千手中央コミュニティセンターで開催されました。宿泊や調理の責任者を対象に、保健所が衛生管理、消防署が火災予防、事務局が留意事項や食事提供指針などの説明を行いました。この日は宿舎で提供する食事の試作会も実施。調理師会・栄養士会の協力を得て、調理担当者が県標準献立を参考に朝食・夕食各1メニューを実際に調理しました。その後の試食では量や味付けを確認。インターハイの反省なども踏まえて意見交換を行いました。国体では全国の選手団に「おいしい新潟」を提供します。

GUIDE 募集

公営住宅入居者募集

●**募集期間**＝11月27日(木)～12月10日(水)※入居資格などの申込み条件の詳細は問い合わせてください●**申込み・問合せ**＝克雪維持課建築住宅係（内線276）

地域	物件		間取り	家賃（月）	募集戸数
松代	善宗塚住宅	昭和51・52年度建築 簡易耐火造3階建	6帖1室、4.5帖2室、DK	11,800円～19,900円	2戸
松之山	松之山第一住宅	昭和55年度建築 簡易耐火造3階建	6帖3室、K	14,800円～24,600円	1戸

3世代丑年生まれの家族などを募集しています

市報1月10日号に登場していただく、3世代にわたって丑年生まれがいる家族や丑年生まれの夫婦、親子、孫と祖父母などを募集しています。年男・年女の皆さん、節目の年に記念として市報に出てみませんか。ぜひご応募ください。※自薦に限ります●**申込み・問合せ**＝12月10日(水)までに総務課広報広聴係（内線213）

とおかまち市民楽校「教えます・教えてください」を募集します

とおかまち市民楽校では、「自分の知識や技術を生かして楽しみながら人に教えてみたい」人や「自分よりも知識や技術のある人から学びたい」人を募集します。テーマは自由です。市民楽校でお互いに学び合ってみませんか。●**申込み・問合せ**＝生涯学習課（☎757―8918）

GUIDE 福祉

障害者控除のために認定書を交付します

65歳以上の要介護認定者で、障害者手帳などの受給者と同程度と認められた場合、所得税や市・県民税の障害者控除が適用される場合があります。希望する人は申請をしてください。審査のうえ、該当者には認定書を交付します。※交付には1週間程度かかります●**申請に必要なもの**＝介護保険証、印鑑●**申請・問合せ**＝福祉課高齢福祉係（内線145）または各支所市民課

いっしょに点字ボランティアをしませんか

点字をご存じですか。点字は目の見えない人が触って情報を得るための文字です。私たち明窓会は、点字を打って目の見えない人のお手伝いをしています。いっしょに勉強してボランティアをしませんか。●**勉強会**＝毎月第3火曜日午後1時30分～3時（本町分庁舎）●**問合せ**＝明窓会・片桐（☎090―2217―5541）

パソコンを使った編集ボランティア募集

十日町朗読サークルでは、目の不自由な人のために市報を録音していますが、パソコンを使って音声データを編集するボランティアを募集しています。●**12月の研修会**＝7日(日)午後1時30分～（情報館）●**問合せ**＝市民・県民税の障害者控除が適用される場合があります。希望する人は申請をしてください。審査のうえ、該当者には認定書を交付します。※交付には1週間程度かかります●**申請に必要なもの**＝介護保険証、印鑑●**申請・問合せ**＝福祉課高齢福祉係（内線145）または各支所市民課

GUIDE 税

夢のある未来を築くみんなの税 11月の納税・納付

11月は固定資産税第4期、国民健康保険税第8期及び介護保険料・後期高齢者医療保険料第8期の納付月です。期限（12月1日）内に納めましょう。●**問合せ**＝税務課・介護国保課（☎752―2451）

GUIDE その他

12月の休館日

●**中央公民館**＝毎週月曜日・23日(祝)・29日(月)～31日(水)●**千手中央コミュニティセンター**＝毎週火曜日・29日(月)～31日(水)●**博物館**＝毎週月曜日・24日(水)・27日(土)～31日(水)●**情報館**＝毎週月曜日・29日(月)～31日(水)●**総合体育館**＝毎週火曜日・29日(月)～31日(水)●**川西総合体育館**＝10日(水)・24日(水)・29日(月)～31日(水)●**松代総合体育館**＝毎週月曜日・29日(月)～31日(水)●**キョロロ**＝2日(火)・9日(火)・16日(火)・24日(水)・30日(火)●**ひだまりプール**＝2日(火)・9日(火)・16日(火)・25日(木)～31日(水)

「住生活総合調査」にご協力を

住生活基本法に基づいて住生活の安定・向上を目指す総合的な施策を推進するうえで必要となる基礎資料を得るために、10月に実施された住宅・土地統計調査（統轄：総務省）に回答いただいた世帯の中から一部を抽出して「住生活総合調査」を行います。調査結果は、国や地方公共団体の住宅施策を推進するための貴重な資料となります。調査対象となった世帯には、11月下旬に調査員が訪問しますので、ご協力をお願いします。●**問合せ**＝克雪維持課建築住宅係（内線276）

むし歯のないよい歯の子

10月の3歳児健診を受けた子38人

よい歯の子	住所	保護者
本間佑一朗	（昭和町2）	隆之
蕪木一優	（西寺町）	良一
大平凛太朗	（西浦町西）	克伸
上原紀香	（西本町3）	勇一
樋口力樹	（上川町）	貴幸
本間遥菜	（猿倉）	久雄
宮内理沙	（新座2）	博昭
小林由青	（新座4-1）	弘幸
山田柚羽	（四日町1）	陽輔
西本弘真	（上新田1）	信弘
太田陽	（馬場1）	則行
俵山唯	（太田島3）	友希
米山伊吹	（土市2）	育夫
佐藤智萌	（土市3）	聰
中野芹	（土市5）	拓朗
髙橋愛知	（坪山）	良征
須藤隼斗	（下原）	友由
村山駿	（田沢本村）	宏一
富井心菜	（市之越）	純一

※保護者の承諾を得て掲載しています

原材料価格高騰対応等緊急保証制度が始まりました

国では、原材料価格の高騰により経営環境が悪化し支障をきたしている中小企業に対して、経営安定に必要な事業資金の調達を支援する制度を開始しました。この制度を利用すると一般保証に比べて保証料率が低くなるので、県信用保証協会へ支払う信用保証料が安くなります。保証限度額も一般保証とは別枠となります。制度の利用には市の認定が必要です。また、制度とは別に金融機関及び県信用保証協会の審査があります。●**問合せ**＝産業振興課商工振興係（☎757―3139）

珠算・暗算検定試験段位認定試験

●**試験日**＝21年2月8日(日)●**申込み期間**＝12月1日(月)～21年1月7日(水)●**申込み・問合せ**＝申込書（問合せ先に配置）に受験料を添えて十日町商工会議所（☎757―5111）

離れるな！じっと我慢の2分間！

これからの時期は、ホームタンクから灯油を小分けにする際に、うっかりミスで灯油を流出する事故が多発します。油が流出すると、警察・消防・市役所・県の出先機関などが発生原因の調査を行います。油流出事故は地下水や河川の汚染原因となり、周辺住民にも迷惑がかかることがありますので、灯油を小分けにする際は、給油が終了するまで目を離さないようにしてください。また、降雪前に外部配管した給油管の点検も忘れずに行いましょう。●**問合せ**＝市民生活課環境政策室生活環境係（内線158）

地デジであなたをだます詐欺にご注意！

総務省やテレビ局を名乗り、テレビの地デジ対応やアンテナ交換などを口実とした代金を請求する詐欺が発生しています。地デジ対応で、総務省やテレビ局、その関係機関がお金を請求することは一切ありません。このような請求を受けたときは、すぐに支払わず、総合通信局や十日町警察署（☎752―0110）、県消費生活センター（☎025―285―4196）へ相談してください。●**問合せ**＝総務省信越総合通信局放送課（☎026―234―9992）

20年度宝くじ助成事業 胃部検診車が配備されました

(財)日本宝くじ協会の助成で、最新型の胃部レントゲン車が南魚沼市に寄贈されました。この検診車は、魚沼地域胃集団検診協議会（小千谷市・十日町市・魚沼市・南魚沼市・川口町・湯沢町・津南町で構成）に貸付けされ、各地の会場で活躍します。

問合せ　健康支援課成人保健係　☎757-9764

【市報おわびと訂正】

10月10日号に誤りがありました。5ページの19年度決算のお知らせ【地方債残高の状況】の中で、前年度対比0・2％増となっていますが、正しくは0・1％減でした。おわびして訂正します。

介護保険の説明会を行います

市では、今後3年間（21～23年度）の介護保険の事業計画を策定しています。事業計画の内容などの説明会を行いますので、最寄りの会場においでください。

日	時	会場
12月8日(月)	午前10時～	松之山自然休養村センター
	午後2時～	松代総合センター
12月9日(火)	午前10時～	水沢公民館
	午後2時～	大井田コミュニティセンター
12月10日(水)	午前10時～	千手中央コミュニティセンター
	午後2時～	川西高齢者コミュニティセンター
12月11日(木)	午前10時～	川治公民館
12月12日(金)	午前10時～	吉田公民館
	午後2時～	高山コミュニティセンター
12月13日(土)	午前10時～	下条公民館
	午後2時～	中条公民館
12月15日(月)	午前10時～	新座コミュニティセンター
	午後2時～	六箇公民館
12月16日(火)	午前10時～	中央公民館
	午後2時～	中里総合センター
12月17日(水)	午前10時～	情報館
12月18日(木)	午後2時～	サンクロス十日町

問合せ　介護国保課介護保険係　☎757-3757

「所得税の青色申告決算書」作成方法の説明会を行います

都合のよい会場においでください。

対象	日	時	会場
営業所得関係	12月4日(木)	午後1時30分～3時	松代総合センター
	12月9日(火)	午前10時～11時30分	中央公民館
		午後1時30分～3時	
農業所得関係	12月3日(水)	午前10時～11時30分	千手中央コミュニティセンター
		午後1時30分～3時	ＪＡ十日町本店
	12月4日(木)	午前10時～11時30分	松代総合センター
	12月5日(金)	午前10時～11時30分	中里総合センター

問合せ　十日町税務署　☎752-3181

●ちびっこひろば

なかよしランド

●日　時　２日(火)・９日(火)・16日(火)
　　午前10時～11時　※16日はクリスマス会
●対　象　３歳未満児とその保護者
●会　場　サンクロス
●申込み・問合せ　中央公民館　☎757-5011

ぐりぐらルーム

●日　時　13日(土)　午前10時～11時
●対　象　乳幼児～小学生
●会　場　下条公民館
●問合せ　水落　☎756-2254

おはなしひろば

●日　時　13日(土)　午前10時～
●対　象　園児～小学３年生
●会　場　中里総合センター
●問合せ　中里公民館　☎763-2493

おはなしたまてばこ

●日　時　11日(木)　午前10時～11時
●対　象　乳幼児とその保護者
●会　場　情報館
●問合せ　情報館　☎750-5100

どんぐりおはなしのへや

●日　時　20日(土)　午後２時～３時
●対　象　幼児・小学生
●会　場　情報館
●問合せ　情報館　☎750-5100

おはなしの会「ふきのとう」

●日　時　20日(土)　午前10時～11時
●対　象　乳幼児～小学３年生
●会　場　千手中央コミュニティセンター
●問合せ　山田　☎768-3865

十日町おやこ劇場～おはなしてんこもり～

●日　時　６日(土)・13日(土) 午前10時30分～11時30分
●対　象　幼児・小学生
●会　場　加賀書院
●問合せ　加賀書院　☎752-2114

●こころの健康相談

不眠、不安、意欲の低下などで悩んでいませんか。本人でも家族でも相談できます。

●日　時　10日(水)　午後２時～４時
●会　場　川西支所
●医　師　信田医師（中条第二病院）
●申込み・問合せ
健康支援課成人保健係（内線126）または、十日町地域振興局健康福祉部地域保健課　☎757-2402

●全血献血

12月の献血はありません。

●問合せ　健康支援課地域医療係（内線127）

●高年齢者職業相談
おおむね45歳以上が対象です
※23日(祝)・29日(月)～31日(水)は休み
毎週月～金曜日　午前９時～午後５時
会場：高年齢者職業相談室（サンクロス十日町内）

●ジョブカフェ（若者のための仕事相談）
おおむね30代半ばまでが対象です　※要予約
毎週木曜日　午前10時～午後４時
会場：本町分庁舎　☎757-3139

●定例行政相談
毎月第２金曜日　午前10時～正午
会場：本庁市民相談室・行政相談室

●行政相談
【川西地域】16日(火)　午後１時30分～４時
　　会場：はあとふる川西
【中里地域】20日(土)　午後１時30分～３時30分
　　会場：中里支所

●法律相談　電話で市民生活課市民係へ要予約
毎週木曜日　午後１時30分～４時
会場：本庁市民相談室・行政相談室

●多重債務相談
電話で市民生活課環境政策室生活環境係へ要予約
10日(水)　午後１時30分～４時30分
会場：十日町保健センター

●消費者相談
８日(月)・22日(月)　午後１時30分～４時
会場：本庁市民相談室・行政相談室

●定例社会保険・年金相談
11日(木)・25日(木)　午前10時～正午、午後１時～３時
会場：クロス10

●女性相談専用電話
月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く）
午前８時30分～午後５時30分　☎757-3701

●心配ごと相談　問合せ　社会福祉協議会　☎750-5010
会場：社会福祉協議会（本所・支所）
時間：午後１時30分～４時
▽十日町本所　毎週木曜日
▽松之山支所　９日(火)　▽松代支所　12日(金)
▽川西支所　16日(火)　▽中里支所　26日(金)

●休日救急医

期　日	医療機関名	住　所	電話番号
７日(日)	中条病院	北原	757-3018
	津南病院	津南町	765-3161
14日(日)	たかき医院	土市５	758-2361
21日(日)	小林内科医院	中町	752-7155
23日(祝)	大坪医院	四日町新田２	757-6100
	松之山診療所	松之山	596-2240
28日(日)	富田医院	発電所通り西	761-0200
	倉俣診療所	芋川	763-2147
29日(月)	本町クリニック	本町３	750-1160
30日(火)	たかき医院	土市５	758-2361
31日(水)	山口医院	下条中央通り	755-2003

●乳幼児健診

◎会　場…十日町保健センター
◎持ち物…母子健康手帳、問診票、
　　フッ素塗布希望確認票（１歳６か月児のみ）
　　視聴覚アンケート（３歳６か月児のみ）
　　着替えやおむつなど必要なもの
◎対象の期日に受診できなかったときは、住んでいる地域に応じて本庁または各支所へ連絡してください。
◎３歳６か月児健診は事前に検査セットを送りますので、届かない人は本庁へ連絡してください。
◎健診終了時間が遅くなることがあります。ゆとりをもって来てください。

事業名	期　日	受付時間	対象児
４か月児健診	25日(木)	午後１時～１時30分	20年８月生まれの乳児
10か月児健診	17日(水)	午後１時～２時	20年２月生まれの乳児
１歳６か月児健診	24日(水)	午後１時～１時30分	19年６月生まれの幼児
２歳６か月児身体測定	17日(水)	午前９時～９時30分	18年６月生まれの幼児
３歳６か月児健診	18日(木)	午後１時～１時30分	17年６月生まれの幼児

●離乳食教室

対象児と内容	開　催　日
２か月～４か月児 離乳食準備～初期	３日(水)
６か月～９か月児 離乳食中期～後期	16日(火)

会　　場　十日町保健センター
受付時間　午前９時45分～10時
　　直接会場においでください
持 ち 物　母子健康手帳・
　　筆記用具

●健康相談　保健師による相談

期　日	会　　場	受付時間
１日(月)・15日(月)	十日町保健センター	午前9時30分～11時30分
２日(火)	川西支所	午前9時～11時
９日(火)	新座コミュニティセンター	午前9時30分～11時30分
	大井田コミュニティセンター	午後1時30分～3時30分
	川治公民館	午前9時30分～11時30分
11日(木)	吉田公民館	午前9時30分～11時30分
	山谷集会所	午後1時30分～3時30分
12日(金)	羽根川荘	午前9時30分～11時30分
	水沢公民館	午前9時30分～11時30分
	平成園	午後1時30分～3時30分
19日(金)	中条公民館	午前9時30分～11時30分
	北原集落センター	午後1時30分～3時30分
	下条公民館	午前9時30分～11時30分
	上新田自治会館	午後1時30分～3時30分
22日(月)	松之山支所	午前8時30分～11時30分
	松代支所	午前9時～11時
	中里支所	午前9時～11時30分

※健康手帳のある人は持参してください

健康相談・休日救急医・離乳食教室・乳幼児健診の問合せ

十日町本庁（代表）	川西支所（市民課直通）	中里支所（市民課直通）	松代支所（市民課直通）	松之山支所（市民課直通）
☎757-3111	☎768-4957	☎763-3121	☎597-2221	☎596-2169

あすこだね

▼食べに行ってみたいと思いながらも、昨年は都合が悪くて行けなかったもくらくぞっきそばまつり。今年は取材で伺ったところ、思いがけずそば作りや準備を手伝わせてもらいました。こねるのは予想以上に力が必要で大変でしたが、地域の輪にちょっと入れた気がして、うれしく楽しく作業させてもらいました。木落の皆さん、ありがとうございました。
▼広報にいると、いろいろな話を聞けたり、行ったことがない場所に行けたり、やったことがないことを体験できたりする機会に恵まれます。そのたびに、たくさんの人から協力していただきます。叙勲や表彰を受けた皆さんは、「周りの人のおかげ」と口々に話していました。そのとおりだな、としみじみ感じる晩秋の一日でした。

（五）

▼立冬が過ぎ、河岸段丘から見える越後三山もうっすら雪化粧する季節になりました。もう少しで冬本番と思うと来年の春が待ち遠しくなります。十日町の冬といえば、やはり雪まつりでしょうか。人口５万人規模の都市の中で十日町市が世界一、雪が降ると聞いたことがあります。また十日町は雪まつり発祥の地でもあります。日本一、世界一をどんどん発信して観光客を呼び込むことが大切です。
▼本年度は記念すべき第60回目の雪まつりです。市民手作りで始まった雪まつりも日本海側最大級の冬のイベントに成長し、毎年数十万人という人でにぎわいます。市民の皆さんとともに観光客をもてなし、満足して帰ってもらうことが次の誘客に結び付くと思います。

（ふ）

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
E-mail th-somu@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp ■編集/総務課広報広聴係

携帯サイト

熱中夢中 この時 ⑧

上川手歌舞伎保存会

江戸時代末期から伝わる農村歌舞伎の伝承を

松之山上川手地区に江戸時代末期から伝わる農村歌舞伎。昭和57年に農家を解体したときに歌舞伎の台本が見つかったのをきっかけに復活しました。現在では市内をはじめ、日本全国で公演を行い、地域文化の伝承に努めています。

●問合せ
福原滋さん ☎025―596―2169（松之山支所市民課内）

87歳の小野塚さんが、17歳の娘お里になるのが、公演前の化粧のときです。公演には県外から専門の化粧師が応援に駆け付けてくれます。

地区の集会所で行われる稽古。公演が近付くと稽古も厳しさを増します。

松之山芸能祭で演じた「義経千本桜釣瓶鮓屋の場」の1場面。舞台装置から照明、音響もすべて会員が行います。

復活後は愛好会として活動をしていましたが、平成10年に現在の保存会が設立されました。平成11年には合併前の松之山町で無形民俗芸能として指定文化財となり、合併後十日町市に引き継がれています。

保存会の会員は50代から80代まで20人。毎月2回、地区の集会所で稽古を行っています。台本は昔からあったものを使い、2時間ほど汗を流します。衣装や舞台装置、化粧代などは補助金なども活用していますが、ほとんど個人の寄付や、保存会自らの手作りに頼っています。

現在のレパートリーは、「白浪五人男稲瀬川勢揃いの場」や「菅原伝授手習鑑寺子屋の場」など4演目。10月26日(日)に行われた今年の松之山芸能祭では、「義経千本桜釣瓶鮓屋の場」の公演を行いました。鮓屋の17歳の娘お里を演じるのは、座長で女形一筋で演じてきた小野塚英治さん(上川手・87歳)。87歳の小野塚さんが演じる17歳の娘は、芸域の深さを感じさせ見る人を引き付けます。

悩みは後継者不足。理事の一人、福原滋さん（天水越・59歳）は、「子どもたちにぜひ教えて、伝えていきたい。練習は大変ですが、観客の皆さんから拍手をもらったときは一番うれしいですね」と語り、新たな会員の呼びかけも行っています。